



まんすりーれぽーど

青山学院大学が市内の高校に出張ガイダンス(3月17日)

米原高校と伊吹高校で、大学入試の勉強法などについてのガイダンスが実施されました。これは、地方版総合戦略の具体的な施策の一つとして、市と青山学院大学が昨年11月に締結した包括連携協定に基づき、高校と大学の連携事業として行われたものです。

この日は、午前中に伊吹高校で新2年生と新3年生の希望する生徒、午後は米原高校で新2年生がガイダンスに参加しました。

ガイダンスでは、講師の青山学院大学の白濱政策・企画部長が「大学はどんなところ?」をテーマに、入学試験の英語勉強法やグローバル社会で求められる人材について、また大学に関するよくある質問や疑問等をスライドで話されました。



▲米原高校ではおよそ240人がガイダンスに参加

生徒たちは、今後の勉強法や進路を考えるきっかけとなる有意義な時間を過ごせたようでした。

伊吹小4年生が伊吹山を守ろう募金を寄付(3月4日)



上野会館で伊吹小学校4年生13人が、伊吹山の自然保全のための募金8,412円を上野自治会へ贈呈しました。

この募金は、伊吹山の自然環境を守る地域の人々の活動に協力したいという思いから、総合的な学習の一環として募金グループの児童3人が中心となり全校児童や保護者らに協力を呼びかけ集めたものです。

募金を受け取った鹿取自治会長は「伊吹山をこれからも守っていきます」と話しました。

LEDライトを寄贈いただきました(3月17日)



滋賀県電気工事工業組合から、市にLED強力ライトセット20組を寄贈いただきました。

これは、滋賀県電気工事工業組合と「災害時における電気設備の応急復旧の応援に関する協定」を締結している滋賀県および滋賀県下全市町に寄贈されるものです。

寄贈いただいたライトは市役所各庁舎に配置し、災害発生時のパトロールなど、市民のみなさんの安全・安心を守るために有効活用させていただきます。

シカ捕獲用わなを寄贈いただきました(3月23日)



姉川ダム発電所を設置運営する「いぶき水力発電株式会社」から、人工知能を使ってまとめてシカを捕獲する捕獲用わなを市に寄贈いただきました。

これは、1月に市といぶき水力発電株式会社が県を立会人として締結した地域貢献に関する協定の一環として行われたもので、「木の駅プロジェクト」を行う「木の駅いぶき実行委員会」にも寄付金が贈呈されました。

平尾市長は「シカの個体数の増加で、森の状況は深刻になっている。ありがたいです」と話しました。